

(令和7年刊行)

ひらね119

(消防年報 概要版)



枚方寝屋川消防組合



急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

【2025年度全国統一防火標語】

「ひらね119」は、火災、救急、救助の活動をはじめとする消防の仕事を市民の皆さんにご理解いただくために、消防年報のダイジェスト版として編集したものです。本書が消防行政をご理解いただく一助になれば幸いです。

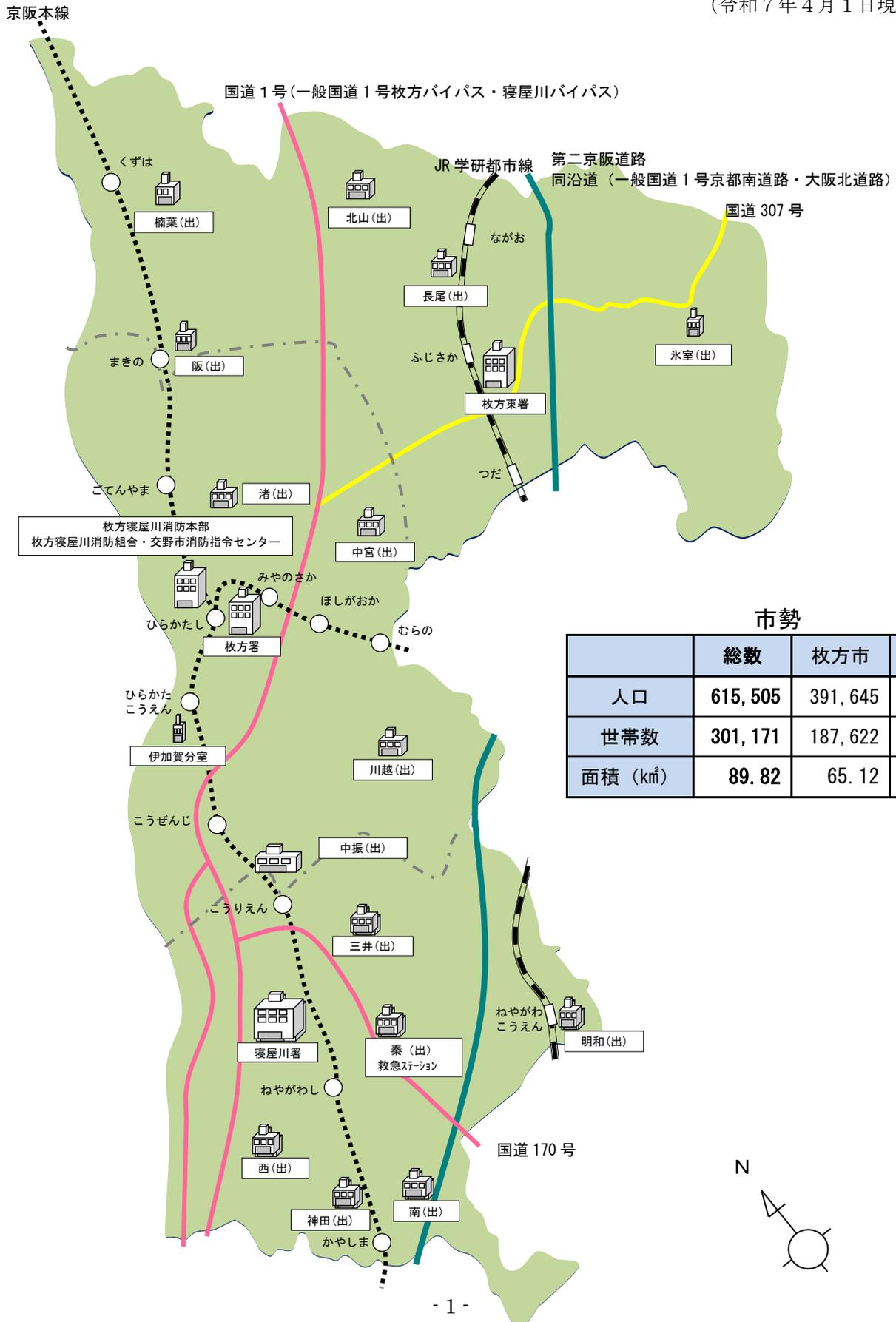
※なお、日付のないデータは、令和6年12月31日現在のものです。

目 次

1 管内図及び市勢	1	12 警 備	13
2 組 織	2	(1) 消防隊の活動状況	
3 消防歳出予算	3	(2) 消防水利	
4 消防庁舎	4	13 火災概況	15
5 令和5年中の主な活動記録	5	(1) 火災概況	
6 消防職員	6	(2) 月別火災件数	
7 消防車両	7	(3) 死傷者・損害状況	
8 防火対象物	8	(4) 過去10年間の火災発生状況	
(1) 防火対象物		(5) 出火原因	
(2) 消防同意		14 救 急	18
9 危険物	10	(1) 救急件数の動向	
10 査 察	11	(2) 救急活動状況	
11 119番等通報	12	(3) 救命率の向上	
(1) 119番等通報受信状況		(4) 「救急安心センターおおさか」	
(2) その他各種通報手段の状況		(5) ドクターカー事業	
		15 救 助	21
		16 消防団の概況	22

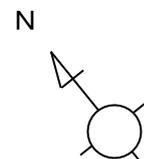
1 管内図及び市勢

(令和7年4月1日現在)



市勢

	総数	枚方市	寝屋川市
人口	615,505	391,645	223,860
世帯数	301,171	187,622	113,549
面積 (km ²)	89.82	65.12	24.70

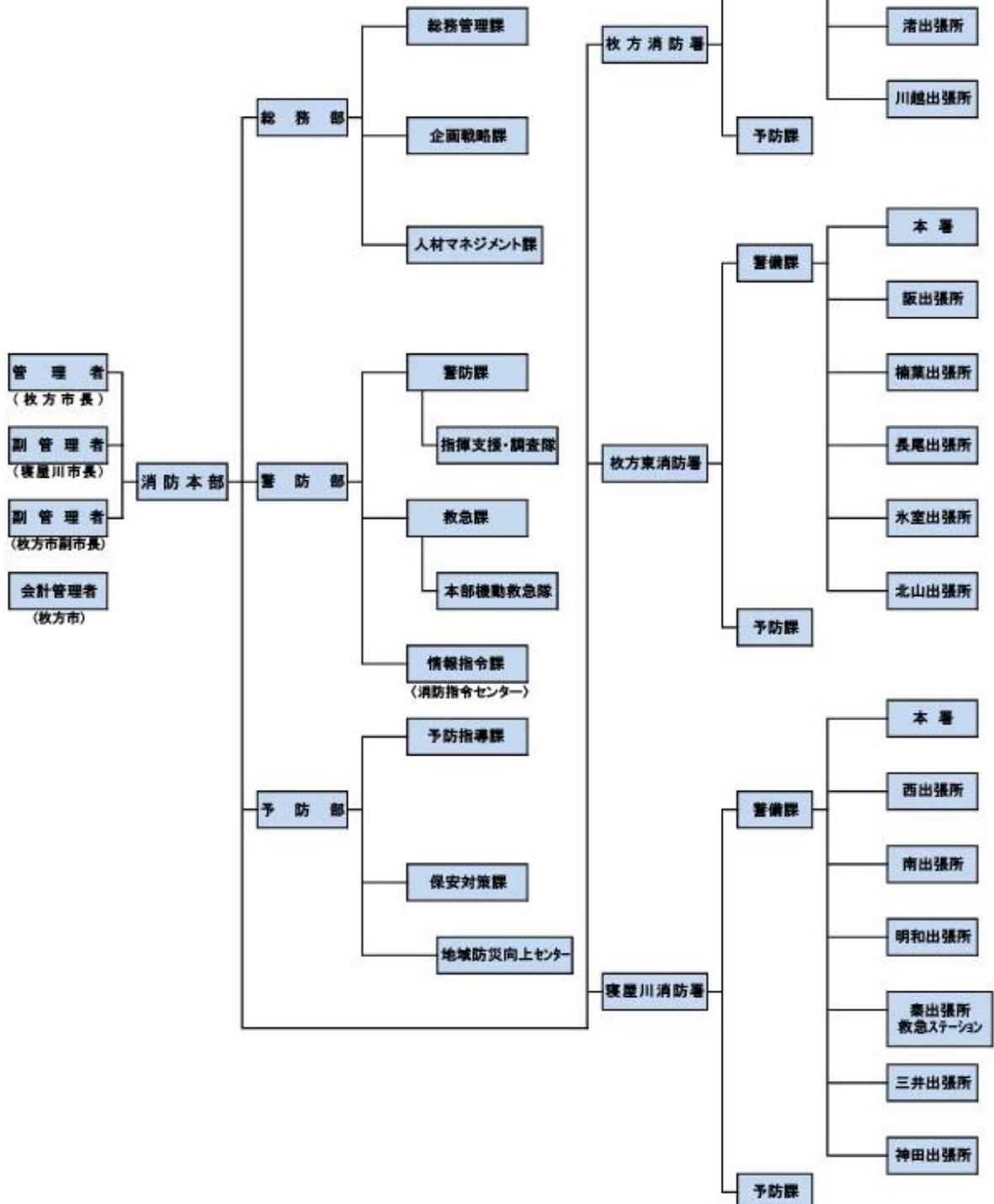


2 組

織

(令和7年4月1日現在)

枚方寝屋川消防組合議会	
派遣議員	枚方市 9名 寝屋川市 7名
監査委員	2名
公平委員会	3名



3 消 防 歳 出 予 算

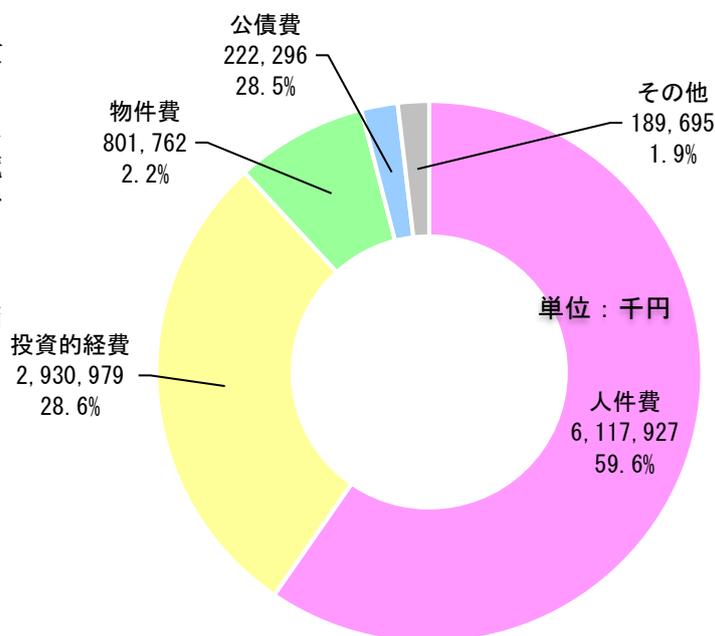
令和7年度当初予算 102億6,265万9千円

日本各地で頻発する巨大地震をはじめ、災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んでいます。また、救急需要の増加は歯止めがかからず、令和5年度に当組合で実施した消防力適正配置に係る調査・研究における救急搬送人員の将来推計では、2035年までこの増加傾向が継続すると予想されています。

このような状況下において、消防の使命は、より一層重要性を増しており、市民の人命に直結する消防体制の充実・強化は決して停滞させることはできません。

令和7年度は第5次将来構想計画前期事業計画の最終年度であり、「安全・安心を実感できるまち～ともにつくる～」の実現に向けて、各事業に取り組むと共に、確実に後期事業計画へ引き継いでいく必要があります。当該年度においては、予算の柱として①隊員の安全管理、②職員が働く環境の整備、③消防DXの推進を掲げており、重点的に予算を配分しています。

歳出予算性質別比率



《主要事業》

- ・車両更新・・・消防ポンプ自動車2台（氷室、中振）、救急車1台（寝屋川）、指揮支援車1台（本部）、指揮車1台（枚方東）、起震車1台（本部）
- ・消防情報システム更新整備

過去5年間の消防組合歳出予算・決算額

年度	区 分	歳出予算・決算額 (単位：千円)	左記の財源内訳 (単位：千円)			人口1人当たりの 消防費(単位：円) (当初予算で算出) (毎年4月1日の人口)
			枚方市負担金	寝屋川市負担金	その他収入	
令和3年度	当 初	7,445,410	4,407,013	2,836,152	202,245	11,857
	決 算	7,201,972	4,239,546	2,728,395	234,031	
令和4年度	当 初	7,295,226	4,299,493	2,751,893	243,840	11,676
	決 算	7,360,274	4,335,108	2,768,579	256,587	
令和5年度	当 初	7,406,082	4,280,042	2,727,779	398,261	11,907
	決 算	7,237,348	4,226,681	2,693,596	317,072	
令和6年度	当 初	7,757,853	4,509,739	2,866,307	381,807	12,547
	決 算	—	—	—	—	
令和7年度	当 初	10,262,659	4,415,921	2,820,321	3,026,417	16,674

4 消 防 庁 舎

(令和7年4月1日現在)

区分 署所別	所在地（電話）	敷地面積（㎡）	構造・階数	建築面積 （㎡）	延面積 （㎡）	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組合 ・交野市消防指令 センター	〒573-1191 枚方市新町1丁目7番11号 Tel.072-852-9903（以下市外局番同じ） FAX852-9948（4階）、852-9925（2階）	1343.1	耐火造・地上5階	735.2	3038.6	平28.1.22
伊加賀分室	〒573-0056 枚方市桜町3番40号	365.8	耐火造・地上2階	216.1	351.7	昭56.12.14
枚方消防署	〒573-0027 枚方市大垣内町2丁目10番22号 Tel.072-852-9933、FAX852-9927	2099.5 別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上5階	587.0	2468.9	昭46.1.18
			耐火造・地上2階	235.6	365.9	昭58.4.15
中宮出張所	〒573-0005 枚方市池之宮3丁目4番28号 Tel.852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上2階	224.1	479.97	平29.3.15
中振出張所	〒573-0094 枚方市南中振1丁目16番30号 Tel.852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上4階・ 地下1階	420.1	1250.5	平2.6.26
渚出張所	〒573-1175 枚方市上野3丁目8番2号 Tel.852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上2階	418.7	791.3	平6.3.1
川越出張所	〒573-0083 枚方市茄子作北町7番22号 Tel.852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上2階	197.3	388.3	昭53.4.1
枚方東消防署	〒573-0121 枚方市津北町2丁目23番3号 Tel.852-9971、FAX852-9929	3255.6 主訓練塔 補助訓練塔 プールポンプ室	耐火造・地上4階	636.9	1991.9	昭61.4.1
			耐火造・地上8階	36.4	270.4	昭62.4.1
			準耐火造・地上5階	26.1	130.5	昭62.4.1
			耐火造・地上1階	16.1	16.1	昭62.4.1
阪出張所	〒573-1144 枚方市牧野本町1丁目10番34号 Tel.852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上2階	207.1	405.1	昭54.6.1
楠葉出張所	〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目29番1号 Tel.852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上2階	290.3	497.9	昭50.5.6
長尾出張所	〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目13番6号 Tel.852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上2階	202.2	421.9	昭56.10.24
氷室出張所	〒573-0113 枚方市宗谷1丁目14番1号 Tel.852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上2階	253.5	457.2	昭58.1.28
北山出張所	〒573-0171 枚方市北山1丁目67番15号 Tel.852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上2階	540.1	826.6	平13.4.1
寝屋川消防署	〒572-0039 寝屋川市池田2丁目11番73号 Tel.852-9966、FAX852-9928	3260.9 車庫	耐火造・地上4階	835.9	2352.6	昭46.1.18
			耐火造・地上1階	34.02	34.02	平21.3.24
西出張所	〒572-0063 寝屋川市春日町20番22号 Tel.852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上2階	170.6	346.9	昭56.5.1
南出張所	〒572-0823 寝屋川市下木田町16番17号 Tel.852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上2階	235.1	426.6	昭54.7.2
明和出張所	〒572-0862 寝屋川市打上宮前町2番3号 Tel.852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上4階	295.5	789.1	平9.3.22
秦出張所 救急ステーション	〒572-0848 寝屋川市秦町2番5号 Tel.852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上1階	239.2	237.5	平25.4.1
三井出張所	〒572-0019 寝屋川市三井南町25番2号 Tel.852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上2階	294.0	444.0	昭50.5.23
神田出張所	〒572-0045 寝屋川市東神田町22番6号 Tel.852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上2階	238.1	425.7	昭52.6.1

5 令和6年中の主な活動記録

月 日	内 容	備 考
1月1日～2月2日	能登半島地震に伴う緊急消防援助隊派遣	
1月25日	文化財防火デー	
2月8日	第1回消防組合議会全員協議会	本消防本部
2月21日	定期監査（枚方消防署本署・寝屋川消防署本署）	
3月1日～7日	春季火災予防運動	
3月7日	消防記念日	
3月19日	「防災とボランティアの日」及び「防災とボランティア週間」に伴う本部震災対応訓練	
3月26日	第1回消防組合議会定例会	本消防本部
4月11日	第167回大阪府下消防長会総会	ホテル阪神大阪
4月26日	第71回全国消防長会近畿支部総会	ホテルセイリュウ
5月14日	全国消防長会会計監査	東京都
5月29日	全国消防協会通常理事会	ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺
5月29日、30日	第76回全国消防長会総会	大阪府堺市
6月2日～8日	危険物安全週間	
6月10日	第2回消防組合議会定例会	本消防本部
7月11日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	本消防本部
7月12日	第2回消防組合議会全員協議会	本消防本部
7月24日	第1回消防組合議会臨時会	大阪府堺市
7月30日	第52回消防救助技術近畿地区指導会	本消防本部
8月22日、23日	第52回全国消防救助技術大会	千葉県市原市、千葉県習志野市
10月17日	第73回全国消防長会危険物委員会	北海道滝川市
10月26日、27日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	京都府福知山市
11月14日	第3回消防組合議会全員協議会	本消防本部
11月9日～15日	秋季火災予防運動	
12月17日	第168回大阪府下消防長会臨時総会	大阪市消防局
12月20日～31日	歳末警戒	
12月23日	第3回消防組合議会定例会	本消防本部
12月27日	管理者訓示	

6 消 防 職 員

(令和7年4月1日現在)

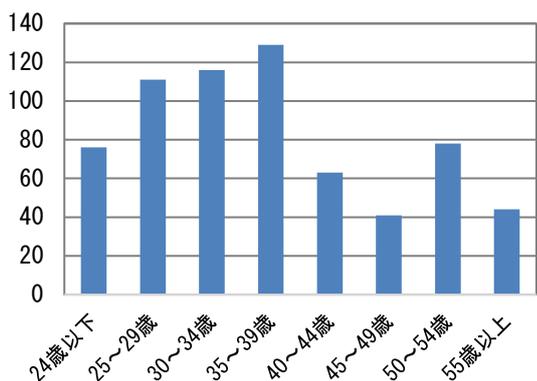
近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。

我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防ぎよ、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

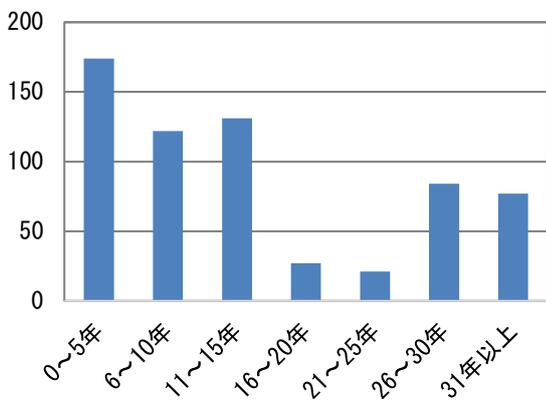
階級別職員数

総 数	消 防 吏 員									吏員以外 の職員	
	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	事 務 員
658	658	1	7	51	82	157	179	1	180	0	0

年齢別職員数



勤続年数別職員数



所属区分別職員数

所 属 区 分		人数		
総 数		658		
消 防 本 部	消防長	1		
	消防次長	1		
	総務部	部長	1	
		次長	2	
		総務管理課	8	
		企画戦略課	6	
		人材マネジメント課	6	
		総務部付派遣	0	
		人材マネジメント課付派遣	24	
	警防部	部長	1	
		次長	2	
		警防課	日勤	7
			交替制	21
		救急課	8	
		情指令報課	日勤	3
交替制			29	
予防部	部長	1		
	次長	1		
	予防指導課	6		
	保安対策課	6		
	地域防災向上センター	1		
小計		135		
枚 方 消 防 署	本署	日勤	15	
		交替制	46	
	中宮出張所	15		
	中振出張所	24		
	渚出張所	27		
	川越出張所	24		
	小計	151		
枚 方 東 消 防 署	本署	日勤	13	
		交替制	47	
	阪出張所	24		
	楠葉出張所	28		
	長尾出張所	23		
	氷室出張所	14		
	北山出張所	24		
小計	173			
寝 屋 川 消 防 署	本署	日勤	17	
		交替制	52	
	西出張所	23		
	南出張所	24		
	明和出張所	24		
	秦出張所救急ステーション	9		
	三井出張所	26		
	神田出張所	24		
小計	199			
勤務形態別	毎日勤務	130		
	交替制勤務	528		

※ 再任用職員を除く。

7 消 防 車 両

(令和7年4月1日現在)

	総計	消防本部	伊加賀分室	枚方消防署	中宮出張所	中振出張所	渚出張所	川越出張所	枚方東消防署	阪出張所	楠葉出張所	長尾出張所	水室出張所	北山出張所	寝屋川消防署	西出張所	南出張所	明和出張所	救急ステーション	秦出張所	三井出張所	神田出張所
総計	116	27	0	12	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD-I型ポンプ車	17	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	
非常用ポンプ車	6	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
高規格救急車	18	1	-	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非常用救急車	6	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	
救助工作車Ⅲ型	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
Ⅲ型化学車	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
38m級梯子車	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
15m級梯子車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
遠距離大量送排水車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
水槽車	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
可搬ポンプ積載車	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
指揮車	4	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
指揮支援車	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査車	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
支援車Ⅰ型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
支援車Ⅱ型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
非常用救助工作車	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	43	19	-	5	-	1	1	1	5	1	1	-	-	1	6	-	1	1	-	-	-	

※ その他には、査察車、広報車、事務連絡車、地震車等が含まれます。

8 防 火 対 象 物

(1) 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。例えば、百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。例えば、学校・事務所等）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等（消火器・自動火災報知設備等）の設置や防火管理者が必要な建物です。

管内防火対象物の事業所数

市・署別 防火対象物区分		組合 合計	枚 方 市			寝屋川市	
			市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署	
総 数		16,703	10,075	5,650	4,425	6,628	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	5	5	-	1
	ロ	公会堂・集会場	362	228	118	110	134
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	45	32	29	3	13
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	4	1	1	0	3
3	イ	待合・料理店等	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	515	302	172	130	213
4		百貨店・マーケット等	581	341	170	171	240
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	53	42	8	34	11
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6319	3829	2364	1465	2490
6	イ	病院・診療所・助産所	246	160	91	69	86
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	346	205	104	101	141
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	501	292	148	144	209
	ニ	幼稚園・特別支援学校	49	37	15	22	12
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	652	399	225	174	253
8		図書館・博物館・美術館等	7	6	4	2	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	0	0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	11	2	0	2	9
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	13	10	5	5	3
11		神社・寺院・教会等	182	115	57	58	67
12	イ	工場・作業場	1268	731	268	463	537
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	392	241	170	71	151
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0
14		倉庫	862	496	228	268	366
15		前各項に該当しない事業所	1659	1077	601	476	582
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1577	949	542	407	628
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1034	560	322	238	474
16の2		地下街	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	17	15	3	12	2
18		延長50メートル以上のアーケード	2	0	0	0	2
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0

(2) 消防同意

消防同意は、建築物の設計段階から防火面に関与し、必要に応じ現地調査を実施し、建築物の位置、構造及び設備のほか、防火に関する安全性の確保を図ることを目的としています。

令和6年中の消防同意件数

区分	市別	総数	防火対象物			一般住宅等		
			小計	枚方市	寝屋川市	小計	枚方市	寝屋川市
総数		1,636	321	183	138	1,315	715	600
工事別	新築	1,563	249	144	105	1,314	714	600
	増築	63	63	38	25	-	-	-
	用途変更	5	5	1	4	-	-	-
	その他	5	4	-	4	1	1	-

※ その他には改築、修繕、移転、模様替等の件数が含まれます。

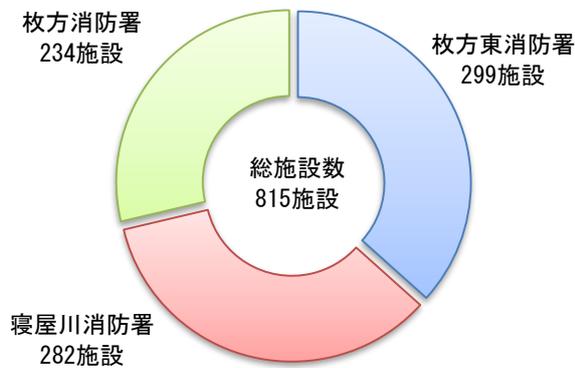
9 危 険 物

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

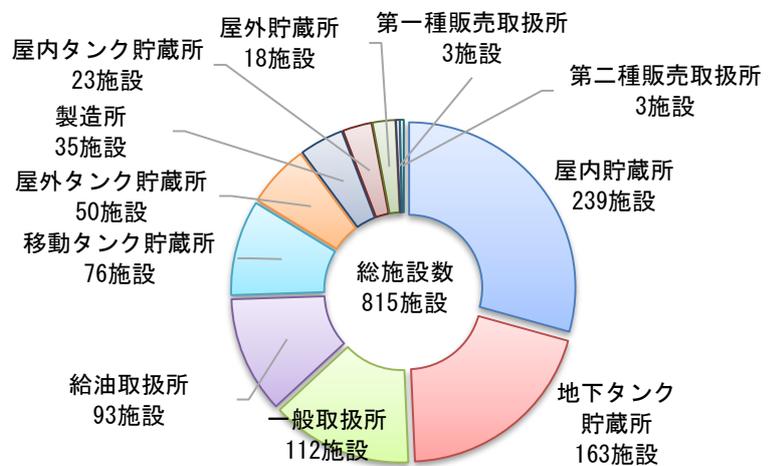
あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

管轄署別施設数



区分別施設数



許認可事務処理状況

区分 署別	総 数	製造所等															仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		
		許 可		完 成 検 査		仮 使 用 承 認 申 請	完 成 検 査 前 検 査	再 交 付 申 請 等	廃 止 届	災 害 発 生 届	数 量 の 倍 数 変 更 届	品 名 数 量 又 は 指 定	軽 微 な 変 更 届	選 任 ・ 解 任 届	危 険 物 保 安 監 督	予 防 規 程 認 可 申 請		転 出 届	そ の 他
		設 置 許 可	変 更 許 可	設 置 許 可	変 更 許 可														
総 数	1,236	5	129	8	127	117	10	0	15	3	19	186	111	4	2	255	11		
枚 方 署	704	1	74	7	70	66	8	-	4	-	2	80	21	-	2	131	6		
枚 方 東 署	218	4	21	1	21	17	2	-	7	-	14	27	55	2	-	55	2		
寝 屋 川 署	314	-	34	-	36	34	-	-	4	3	3	79	35	2	-	69	3		

※ その他には、危険物製造所等の氏名、名称、住所変更届、危険物製造所等における火気使用工事届等の事務処理状況が含まれます。

10 査 察

査察とは、火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るため、当該防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、火災予防上の不備事項を指摘し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行うものです。

用途別査察実施状況

防火対象物区分		市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数			2,563	1,503	1,060
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	93	47	46
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	5	9
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	1	1	0
3	イ	待合・料理店等	0	0	0
	ロ	飲食店	102	60	42
4		百貨店・マーケット等	184	95	89
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	7	2	5
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	873	520	353
6	イ	病院・診療所・助産所	70	45	25
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	90	51	39
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	151	87	64
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	11	6	5
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	22	15	7
8		図書館・博物館・美術館等	1	1	0
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	1	1
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	3	2	1
11		神社・寺院・教会等	17	11	6
12	イ	工場・作業場	131	89	42
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	11	4	7
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	0
14		倉庫	60	28	32
15		前各項に該当しない事業所	139	85	54
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	413	255	158
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	167	92	75
16の2		地下街	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	1	1	0
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0
19		市町村町長の指定する山林	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0

危険物施設別査察実施状況

施設区分	市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数		377	247	130
製 造 所		22	14	8
貯 蔵 所		238	160	78
取 扱 所		117	73	44

11 1 1 9 番 等 通 報

(1) 119番通報受信状況

枚方市及び寝屋川市における総受信件数は76,885件（1日平均約211件）で、これは市民約8人に1人が119番等の通報をしたこととなります。

受信件数の内訳は火災通報349件（0.5%）、救急通報50,824件（66.1%）となっており両通報で全体の約67%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は2,318件（3%）で、引き続き、救急安心センターおおさか（#7119）や大阪府救急医療情報センター（06-6693-1199）を活用し、119番通報での医療問い合わせを減らしていきたいと考えています。

また、いたずら・間違いの通報が6,771件（8.8%）もあり、実際の火災・救急通報の受信に支障を来すことも予想されることから、今後も、防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい119番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話の119番受信が29,346件（38.2%）で、携帯電話からの受信件数は38,122件（49.6%）となっています。

通報受信状況

内訳	種別	合計	内訳		
			固定電話	携帯電話	左記以外※1
合計		76,855	29,346	38,122	9,387
災害通報	合計	52,799	19,546	28,046	5,207
	火災通報	349	75	207	67
	救急通報	50,824	19,150	27,060	4,614
	救助通報	246	39	115	92
	その他通報	1,380	282	664	434
問合せ	合計	2,691	697	1,945	49
	火災・救急問合せ	373	89	249	35
	医療機関問合せ	2,318	608	1,696	14
その他	合計	21,365	9,103	8,131	4,131
	回線試験	2,327	429	3	1,895
	転送	941	22	906	13
	間違い	3,304	621	1,922	761
	悪戯	3,467	2,632	832	3
	上記以外※2	11,326	5,399	4,468	1,459

※1 加入電話、警察、転送、緊急通報等。

※2 緊急要請を必要としない内容、無言電話等。

(2) その他各種通報手段の状況

緊急通報システムからの通報は1,259件（1.6%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からのネット119（登録者数125人）からの通報は2件、eメール119（登録者数11人）による通報は0件で、緊急FAXからの通報は2件でした。

通報手段	件数	合計	枚方市	寝屋川市
緊急通報システム	設置件数	3,264	2,582	682
	通報件数	1,259	984	275
FAX119	通報件数	2	-	2
ネット119	登録件数	125	69	44
	通報件数	2	2	-
eメール119	登録件数	11	4	7
	通報件数	0	-	-

(1) 消防隊の活動状況

令和6年中の消防隊等が活動した事故件数は3,146件、出動車両台数は7,361台でした。これは、1日あたりの平均災害発生件数が約8.6件で、1件の災害に対して平均2.4台の消防車両が出動したことになります。

火災件数160件のうち、建物火災が109件と最も多く、火災出動件数の約68.1%を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

災害分類・種別活動状況

区分	事故件数	出動台数	出動人員	放水件数	放水台数	活動時間
総数	3,146	7,361	26,100	73	181	5,694時間24分
火災	160	1,298	4,341	73	181	1,827時間44分
建物火災	109	1,033	3,480	47	142	1,582時間10分
林野火災	-	-	-	-	-	-
車両火災	17	108	355	10	15	98時間54分
その他火災	34	157	506	16	24	146時間39分
焼損事故	46	240	771			144時間46分
その他消防事故	2,940	5,823	20,988			3,721時間53分

消防署別活動状況

区分	事故件数	出動台数	出動人員	放水件数	放水台数	活動時間
総数	3,146	7,361	26,100	73	181	5,694時間24分
枚方署	1,071	2,441	8,677	29	67	1,870時間24分
枚方東署	827	1,867	6,655	17	38	1,383時間04分
寝屋川署	1,245	3,040	10,732	27	76	2,430時間04分
管轄外	3	13	36			10時間51分

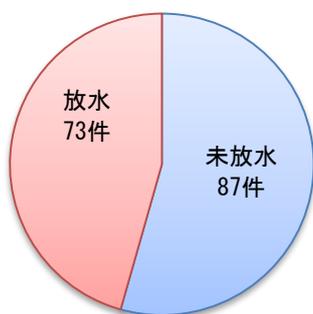
・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。

・活動隊については、救急隊を除く数字です。

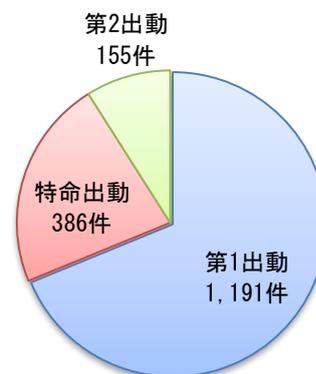
事故種別消防事故件数

出動件数	事故種別									
	虚誤報	警戒	救助	ガス漏れ	油類漏れ	吹鳴事故	管外応援	風水害	PA連携	その他
2,940	154	91	0	9	119	548	9	1	1887	122

放水件数比



出動件数比



(2) 消防水利

本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓(91%)が占めています。

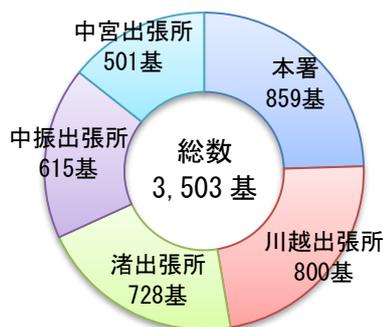
消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

区分 署別	総 数	消火栓			防火水槽 (㎡)			その他の水利			
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	小計	プール	河川池	その他
総 数	10,405	9,434	9,029	405	638	133	505	333	124	144	65
枚 方 署	3,837	3,503	3,358	145	243	36	207	91	44	13	34
枚 方 東 署	3,363	2,993	2,923	70	222	54	168	148	34	107	7
寝 屋 川 署	3,205	2,938	2,748	190	173	43	130	94	46	24	24

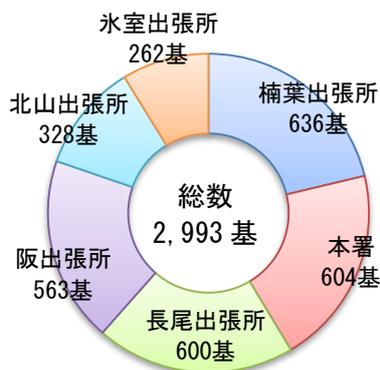
※ 防火水槽寸法(容量)が20㎡未満のものは含みません。

署所別の消火栓設置状況

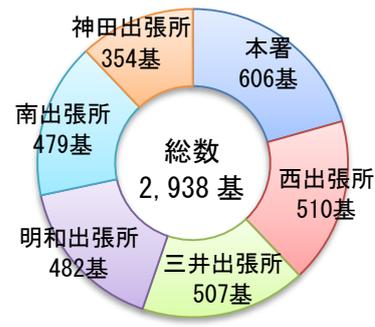
枚方消防署



枚方東消防署



寝屋川消防署



13 火 災 概 況

(1) 火災概況

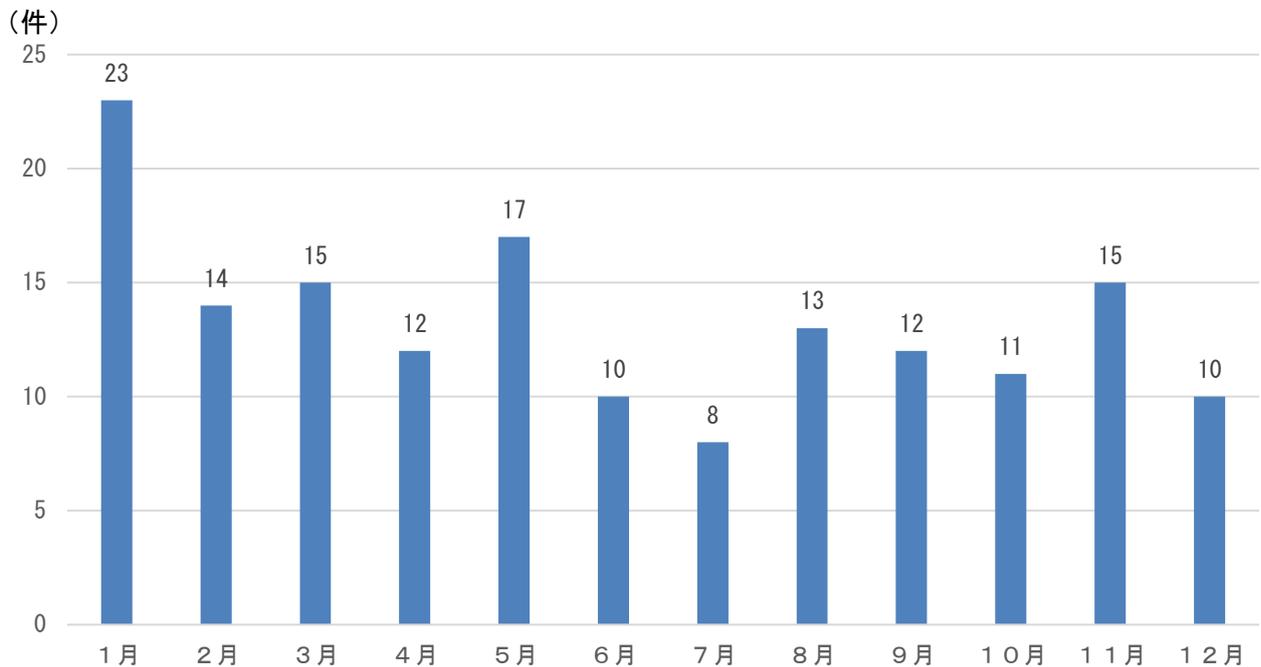
令和6年中における火災件数は160件で、前年と比べ5件減少しています。

市別で見ますと、枚方市は94件（枚方署60件・枚方東署34件）で前年より4件（-4%）減少し、寝屋川市は66件で前年より1件（-1.4%）減少しています。

区 分 署 別	火災種別（事後聞知含む）							焼損棟数					爆 発 棟 数	り災世帯数			
	火災 件数	うち 爆発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		合 計	全 損	半 損	小 損
						枯 草 等	そ の 他										
総 数	160	-	109	-	17	11	23	149	17	11	33	88	-	169	32	12	125
枚 方 署	60	-	42	-	9	2	7	57	5	4	15	33	-	61	10	4	47
枚 方 東 署	34	-	22	-	5	2	5	28	2	4	7	15	-	31	8	1	22
寝 屋 川 署	66	-	45	-	3	7	11	64	10	3	11	40	-	77	14	7	56

(2) 月別火災件数

出火件数を月別で見ますと、最多出火月は1月の23件（14.4%）、次いで5月の17件（10.6%）、3月及び11月の15件（9.4%）と続いており、最少出火月は7月の8件（5%）となっています。



(3) 死傷者・損害状況

火災による死者数は、8人（枚方市4人、寝屋川市4人）で前年より1人減少しています。

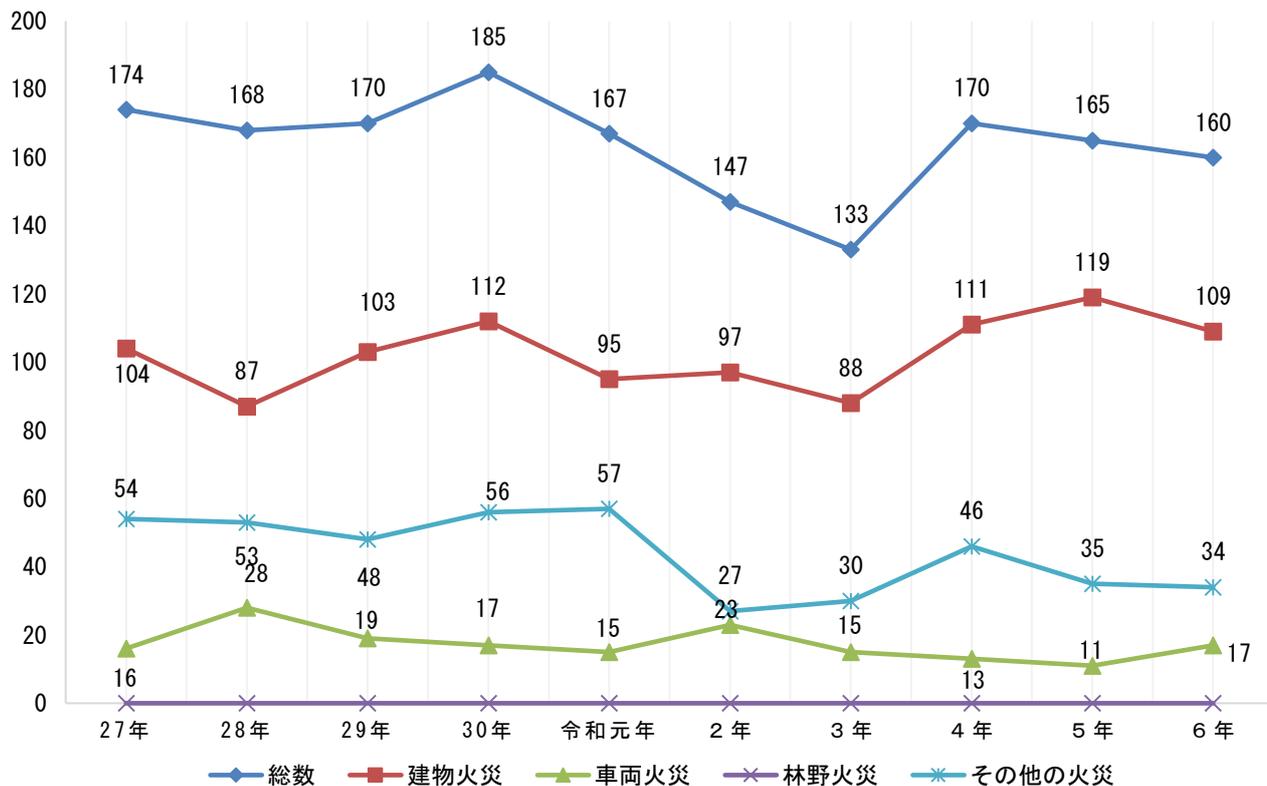
火災による負傷者数は、43人（枚方市26人、寝屋川市17人）で前年より7人（枚方市で1人増加、寝屋川市で6人増加）増加しています。

区分 署別	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)	焼損面積		1ヶ月当たり					
					建物床 (㎡)	林野 (a)	火災件数 (件)	建物火災件数 (件)	焼損棟数 (棟)	死者数 (人)	建物焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
総数	363	8	43	225,285	5,256	-	13.3	9.9	12.4	0.6	438	18773.7
枚方署	129	2	13	92,302	1,271	-	5	3.4	4.8	0.2	105.9	7691.8
枚方東署	60	2	13	23,947	1,735	-	2.8	2.2	2.3	0.2	144.5	1995.5
寝屋川署	174	4	17	109,036	2,250	-	5.5	4.3	5.3	0.3	187.5	9086.3

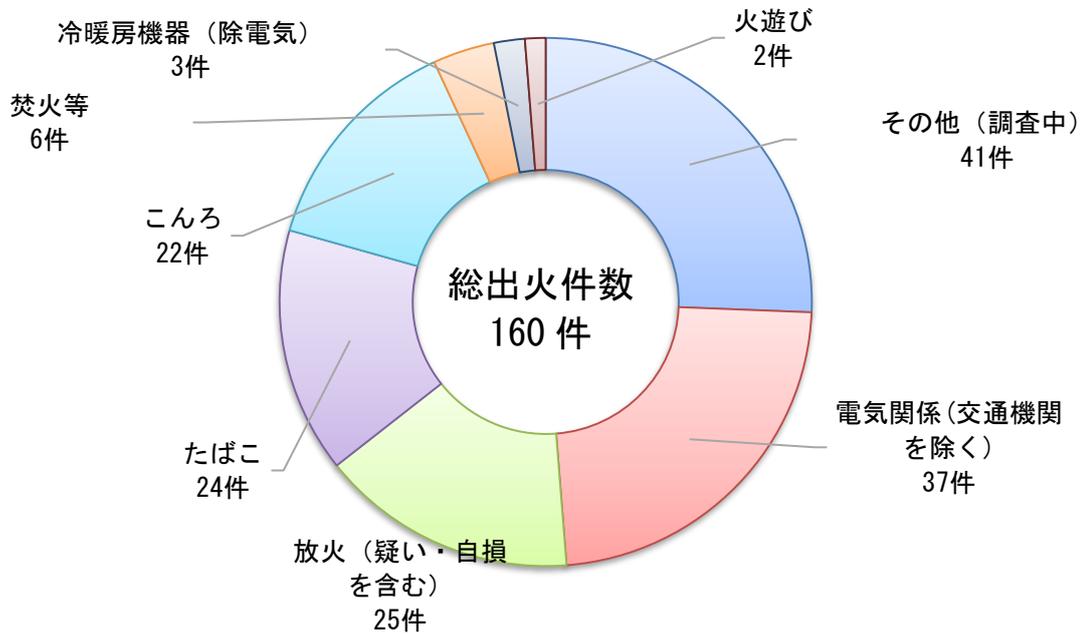
(4) 過去10年間の火災発生状況

過去10年間の本消防組合管内における火災件数は、平成30年の185件がピークに減少傾向にありましたが、令和4年に増加しました。

令和6年の火災件数は160件（前年比5件減少）、内訳は建物火災109件（前年比10件減少）、車両火災17件（前年比6件増加）、その他火災34件（前年比1件減少）となっています。



(5) 出火原因



主な出火原因としては、「電気関係」が37件(23.1%)、「放火(疑い・自損を含む)」が25件(15.6%)、「たばこ」24件(15%)、「こんろ」が22件(13.7%)の順となっています。

原因 \ 年	27年	28年	29年	30年	31/元年	2年	3年	4年	5年	6年
総数	174	168	170	185	167	147	133	170	165	160
放火(疑い・自損含)	55	43	35	40	48	22	32	34	29	25
電気関係(除交通機関)	17	22	27	26	15	32	18	30	29	37
たばこ	26	18	26	20	21	13	15	22	14	24
こんろ	22	16	20	24	27	16	16	26	30	22
焚火等	4	9	8	9	8	9	7	7	10	6
冷暖房機器(除電気)	6	5	3	5	3	6	3	2	3	3
火遊び	3	5	4	4	4	2	1	3	5	2
風呂かまど	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
その他(調査中・不明含)	41	50	46	56	41	46	41	46	45	41

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

(1) 救急件数の動向

令和6年中の救急出動件数は46,617件で、枚方市が27,552件、寝屋川市が18,902件、管轄外（第二京阪道路や交野市へのドクターカー出動）が193件となっています。

過去10年間の出動件数及び搬送人員は、平成25年から令和元年まで右肩上がりに増加しており、出動件数が令和4年に4万件を超え、令和6年は過去最多件数を記録しました。

人口に対する搬送者の比率は、昭和43年は100人に1人でしたが、令和6年は約13人に1人が救急車を利用したことになり、救急需要が高まっています。

過去10年間の出動件数の推移

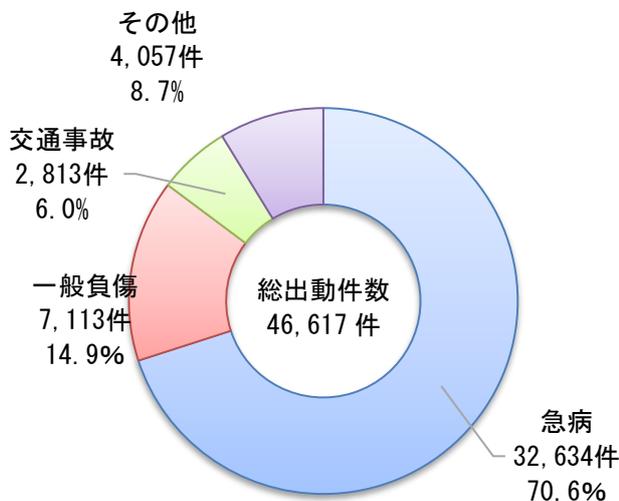
	27年	28年	29年	30年	31/元年	2年	3年	4年	5年	6年
総計	32,863	33,577	35,356	37,751	37,927	34,732	35,877	43,936	45,715	46,617
枚方市	19,669	20,159	21,105	22,513	22,723	20,845	21,205	25,839	27,274	27,522
寝屋川市	13,161	13,362	14,140	15,100	15,075	13,780	14,553	17,917	18,234	18,902
管轄外	33	56	111	138	129	107	119	180	207	193

(2) 救急活動状況

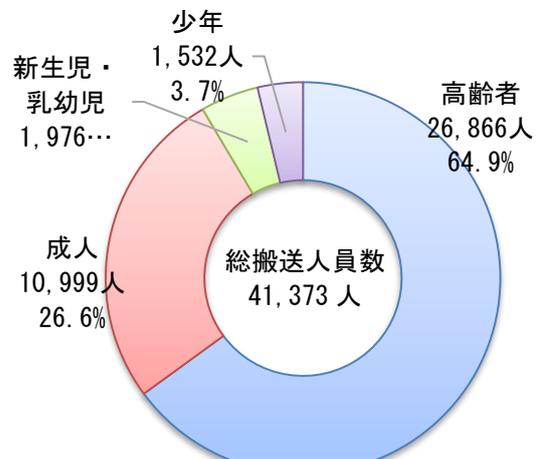
令和6年中の救急活動状況を見ると、出動件数46,617件・搬送人員41,373人で、前年に比べ出動件数が902件(+1.9%)、搬送人員が1,404人(+3.5%)増加しました。消防組合全体では、1日平均約127.7件で、1時間に5.3件の割合で出動したことになり、救急隊1隊あたりの1日の出動は平均して7.1件でした。

救急出動件数を事故種別ごとに見ると、第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故となっています。搬送人員を年齢区分別ごとに見ると、高齢者が多く、全体の約65%を占めています。

事故種別活動状況



年齢区分別搬送人員状況



※新生児・乳幼児 (0～7歳未満)
 少年 (7～18歳未満)
 成人 (18～65歳未満)
 高齢者 (65歳以上)

(3) 救命率の向上

令和6年中の枚方寝屋川消防組合応急手当の普及啓発活動に関する要綱に基づく救命講習の実施回数は276回で受講者数が5,622人、うち、普及員が実施した人数は2,079人でした。

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及びAEDトレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。その他、各署に高度救急処置シミュレーター等を整備し、指導技術の向上を図っています。

救命講習会実施回数及び受講者数（署別）

署別	区分	実施回数	対象人員
総	数	276回	5,622人
枚方署（本部含）		149回	2,263人
枚方東署		46回	1,486人
寝屋川署		81回	1,873人

講習会別実施回数及び受講者数

講習会名	区分	令和6年	
普通救命講習会		147回	2,296人
救命入門コース		97回	3,100人
普及員講習会		9回	64人
普及員再講習会		6回	115人
応急手当指導員講習会		23回	47人
上級救命講習会		-	-

上記のうち普及員実施分

署別	区分	実施回数	対象人員
枚方署（本部含）		65回	699人
枚方東署		15回	382人
寝屋川署		45回	998人

一般市民が救急車到着までに実施した主な応急処置数

	計	胸骨圧迫 心肺蘇生	止血	保温	除細動 (AED)	その他 ※
組合管内	263	189	31	1	5	37

※その他は、被覆、固定、人工呼吸等

(4) 「救急安心センターおおさか」

平成 21 年 10 月 1 日から大阪市の事業として運用されている「救急安心センターおおさか」が平成 22 年 12 月 1 日以降に対象地域を大阪府内全域に拡大したことに伴い、本消防組合も参画しています。

	組合合計	枚方市	寝屋川市
救急車の必要があったもの	1,362	792	570
医 療 相 談	11,715	6,707	5,008
医 療 機 関 問 合 せ	5,506	2,745	2,761
そ の 他	697	394	303
合 計	17,918	9,846	8,072

※ その他には、各種相談や問い合わせ等が含まれます。

(5) ドクターカー事業

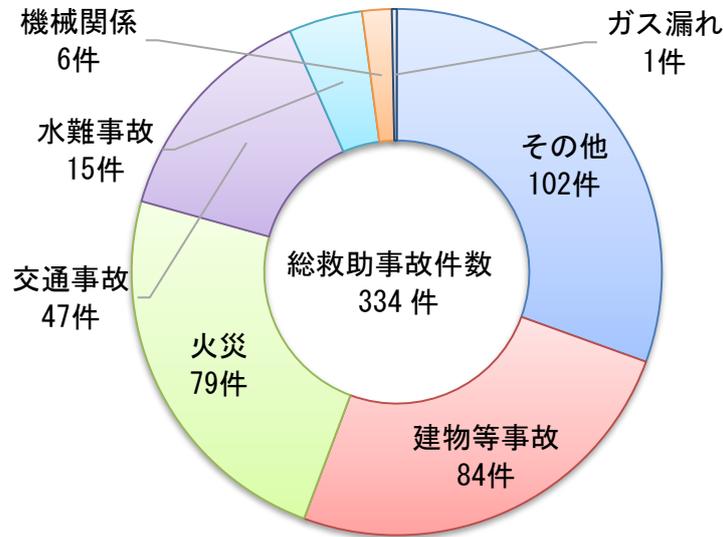
高齢化の急速な進展などにより、救急件数は増加傾向にあり、また、救急搬送で病院到着までに時間がかかる現状です。今後も高齢化が一段と進む中、救急出動件数は、更に増加することが予想されます。こうした背景に伴い、救急医療体制を一層充実させ、救命処置等を必要とする傷病者が発生した救急現場に一刻も早く医師が出場して医療行為を行うことにより、地域住民の救命率及び社会復帰率の向上並びに処置後の良好な改善を図ることを目的として、関西医科大学附属病院高度救命救急センターと連携し、平成 29 年 4 月からドクターカーの運用を実施しています。

	枚方市	寝屋川市	管外
ドクターカー出動件数	207	113	41

15 救

助

令和6年中に救助隊が出動した事故件数は334件であり、前年と比較すると7件(+2.1%)増加しています。また、救助人員は136人であり、前年と比較すると12人(-8.1%)減少しています。



救助人員内訳

総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他	負傷無し
136人	15人	8人	49人	47人	10人	7人

事故種別活動状況

区分 市別	総数	火災	救助事故							
			交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他
総数	334	79	47	15	-	6	84	1	-	102
枚方市	191	46	24	8	-	4	53	-	-	56
寝屋川市	136	33	16	7	-	2	31	1	-	46
管外	7	-	7	-	-	-	-	-	-	-

16 消 防 団 の 概 況

区分		消 防 団 員							消 防 機 械				
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポ ン プ 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ
市別・分団別													
総 数		789	2	10	18	18	31	81	645	82	2	73	7
枚 方 市	小 計	428	1	6	11	11	31	48	327	50	1	42	7
	団本部	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	24	-	-	1	1	3	4	15	2	1	1	-
	蹉跎分団	32	-	-	1	1	3	4	23	4	-	4	-
	川越分団	35	-	-	1	1	3	4	26	3	-	3	-
	山田分団	38	-	-	1	1	3	6	27	7	-	7	-
	殿一分団	37	-	-	1	1	3	8	24	5	-	5	-
	殿二分団	61	-	-	1	1	3	6	50	4	-	4	-
	樟葉分団	39	-	-	1	1	3	4	30	4	-	4	-
	津田分団	50	-	-	1	1	3	4	41	6	-	4	2
	菅原分団	39	-	-	1	1	3	3	31	7	-	5	2
	氷室分団	48	-	-	1	1	3	3	40	6	-	3	3
	女性分団	18	-	-	1	1	1	2	13	1	-	1	-
寝 屋 川 市	小 計	361	1	4	7	7	-	33	309	32	1	31	-
	団本部	5	1	4	-	-	-	-	-	0	-	-	-
	第1南分団	54	-	-	1	1	-	6	46	6	-	6	-
	第1北分団	49	-	-	1	1	-	6	41	6	-	6	-
	第2分団	84	-	-	1	1	-	7	75	7	-	7	-
	第3分団	54	-	-	1	1	-	5	47	5	-	5	-
	第4分団	53	-	-	1	1	-	4	47	4	-	4	-
	第5分団	40	-	-	1	1	-	4	34	4	1	3	-
	女性分団	22	-	-	1	1	-	1	19	0	-	-	-

あなたに安心を届けたい!

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



住宅用火災警報器普及啓発
PRキャラクター「枚寝カンチ」

枚方寝屋川消防組合では、住宅火災での逃げ遅れによる死亡を無くすため、住宅用火災警報器設置促進と維持管理の普及啓発を推進しています。

各種イベントや防火教室等に「枚寝カンチ」が参加し、住宅用火災警報器の認知度の向上や点検方法、交換時期の周知に努めています。

ひらね119

(令和7年 刊行)

発行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編集 総務部企画戦略課

枚方市新町1丁目7番11号

072(852)9906

安全・安心を実感できるまち
～とものつくる～

枚方寝屋川消防組合



枚方寝屋川消防組合
ホームページ



枚方寝屋川消防組合
YouTubeチャンネル



枚方寝屋川消防組合
公式LINEアカウント



枚方寝屋川消防組合
公式X